

開催にあたって

明治期に漢詩が非常に興隆したということ、特に多摩地域では自由民権運動のたかまりと歩みを一つにしているということは、地域の文化・歴史・思想を考えるうえで、大きな意味を持つものといえましよう。

福生市郷土資料室では、一昨年開催いたしました「庶民の文芸・俳諧——芭蕉から友昇へ——」の特別企画展におきまして、江戸時代後期から明治期にかけて隆盛した庶民の文芸である俳諧をとおして、地域の文化・歴史を考える機会をもちました。

今回、企画いたしました「漢詩人・大沼枕山——俳人友昇をめぐる人々——」特別企画展は、多摩地域の在村文化の発展に大きな影響を与えた江戸の漢詩人の一人、大沼枕山と福生出身の在村俳人・森田友昇とのつながりを経たてとして、その周辺で交友をもった文人たちを緯よことして、つなげてみたものです。

この特別企画展では、大沼枕山を中心に多摩地域に関わりをもった漢詩人たちの漢詩文を中心に展示し、その筆蹟についても御鑑賞いただけるよう企画したものです。背景にある地域の歴史的流れとともに御理解いただければ幸いです。

なお、特別企画展の開催に際し貴重な資料を心よく御出品いただきました森田崇旦氏をはじめ、御協力いただきました成城大学尾形助教、同柘尾武教授、同大学院宮脇真彦氏に深甚の謝意を表するものです。

昭和六十年二月

福生市教育委員会

教育長 森 田 猛